

## 介護保険事業は住民の目線で 高齢者・障害者に優しい福祉の実現を 答弁Ⅱきめ細かな要望に取り組む



井上 正臣 議員

近年、施設内介護事業の他に、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で個々の有する能力や機能に応じて日常生活を営む介護、障害福祉政策の充実を目指す地域包括支援機能の推進を厚生労働省は目指している。

一方、介護保険制度の運用面や認定調査で認定の決定期間が長期化などにより、家族介護で悩んでいる住民もいる。

高齢者・障害者などが安心して暮らせる福祉・介護事業に向けた地域における「新たな支え合い」の福祉事業の拡充は重要と考える。

第7期介護保険事業の取り組みはどのようなものか。

### 澁谷ほけん福祉課長

地域共生社会に向けた福祉政策は重要であることから、医療・介護・予防・住まい・生活支援が地域で包括的に確保される地域包括ケアシステムの実現に向け生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）により住民の身近な相談窓口として取り組んでいる。

関係団体との連携も重要なことから、支援センター・仁淀病院・清流苑・偕楽荘などの情報交換にも努めている。

今後、生活支援員やあったかふれあいセンターとも連動させ福祉の多様化・複雑化した細かな住民からの要望にも、総合的に取り組んでいきたい。

## 仁淀川橋歩道橋は危険 安全対策を早急に 答弁Ⅱ国土交通省と 早急に検討する

### 井上議員

仁淀川橋に併設されている歩道橋の防護柵の間隔が広く空きすぎて学生や住民が通行するには危険すぎる。

町を挙げて安全対策に取り組むべきではないか。

### 水田土木課長

現況の柵は、防護柵の基準は満たしているが、小さい子ども連れの方でも安心して通行できるように管理をしている国土交通省と共



仁淀川橋歩道橋

に、現地を確認し、安全性のさらなる向上に向けて協議したい。

## 水道事業の民営化 と改修予算は 答弁Ⅱ民営化は考えていない。 改修予算は2億円

### 井上議員

水道料金が平成31年4月から約30%値上げの見込みである。その理由として、人口の減少の予測から、水道料金収入の減少により、老朽化した水道施設の布設替えや管理費を賄う財源が不足のため値上げせざるを得ないとのことである。

水道事業の民営化は料金の設定や施設管理の安全面において避けたいと考える。

そのための安定経営に向けた取り組みは重要である。料金改定を含め町のこれまでに掲げている水道事業の基本理念の水道事業経営戦略として今後の取り組みはどのようなものか。

### 池田町長

健全経営を目指すためにも、水道料金の適正化を図りながら、安全な水道水の

供給を可能にするため重要管路や緊急性の高い老朽管路の布設替えや耐震化に取り組んでいく。

全体の改修には約16億円の財源を要するとの予測から費用の標準化を図るとして、平成31年には約2億円を予算化し、緊急性の高い箇所から計画的に取り組んでいきたい。

人口の推移（総務省参照）

年	人口数
2020	20,620人
2025	18,520人
2030	16,540人
2035	14,610人
2040	12,730人

### 井上議員

平成29年に水道事業が統合することにより、中山間地域に多い簡易水道施設や小規模水道施設の管理、修繕費が増えると思われるが、今後どのように取り組む計画なのか。

### 尾崎上下水道課長

統合した簡易水道施設は町が今後も維持管理を行っていく。その他地元管理の施設の修繕は、これまで同様に補助金事業により地元で進めていただく。